

聞く人に恵みを与えることば

2023年10月1日

エペソ 4・29

ヤコブ 3・1～12

序：クリスチャン生活・実践編 エペソ 4・25～

ことば、語ることにける留意事項

25節 偽りを捨て 真実を語る

ヤコブの手紙 3・1～12

◇人はことばで過ちを犯しやすい

◇口・舌を制御できる人は稀 その人は身体全体を制御できる

くつわ（馬）、舵（船）、小さな火（山火事）

◇舌は小さな器官、だが及ぼす影響は大きい

舌（体全体）、ことば（人生全体）

◇同じ舌から神への感謝、人への呪い

同じ泉の穴から甘い水と苦い水

◇果樹はそれぞれの性質に応じて実を結ぶ（心 → ことば）

ことばは話す人の内側を証しする

I. 悪いことばは一切口にしない（消極的動機） cf. 28節a

↓

腐った、悪臭を放つ、くだらない、有害無益、卑猥、下品

∴神の子にふさわしくない（父の顔に泥を塗る、父を汚し、恥辱を与える）

自分自身を自ら貶しめる 破壊する

隣人を傷つけ、損なう ことばで殺す

II. 隣人の成長（徳を建てる）に役立つことばを語れ（積極的動機）

(1)必要な時に = 時宜にかなう

箴言 15・23 適切な返事をするとは、その人の喜び。時宜にかなった
ことばは、なんと美しいことか

箴言 25・11 時宜にかなって語られることばは、銀の彫り物にはめられ
た金のりんご

(2)人の成長に役立つことば（親切、清潔、人を活かすことば）

コロサイ 4・6 あなたがたのことばがいつも親切で、塩味の効いたものであるようにしなさい。そうすれば、一人ひとりにどのように答えたらよいか分かります

(3)その目的／結果：聞く人に恵みを与える

Ⅲ. 終わりの日に、ことばも審判（報い）の対象となる

マタイ 12・36～37

わたしはあなたがたに言います。人は口にするあらゆる無益なことばについて、さばきの日に申し開きをしなければなりません。あなたは自分のことばによって義とされ、また、自分のことばによって不義に定められるのです。

Ⅳ. 今の生活における勧め

ペテロⅠ 3・10～11

いのちを愛し、幸せな日々を見ようと願う者は、舌に悪口を言わせず、唇に欺きを語らせるな。悪を離れて善を行い、平和を求め、それを追え。

Ⅴ. 結び

(1)賢明な人はおしゃべりではない。必要な時に、ふさわしいことだけを語る。

話し足りなくて後悔するより、饒舌すぎたことを後悔するほうが遥かに多い

(2)神は口、舌を神を賛美するため、人の益となることを話すために与えられた主のみどころにかなった用い方をしよう

(3)聞く人に恵みを与えることば：感謝、賞賛、労い、慰め、励まし、建設的な叱責、助言……がある 折りにかない、一人ひとりに応じて語る

(4)人のことばよりも、神のことばの方が恵みと力がある

信仰者には特にそうなので、神のことばの引き出しを整理して、いつでも取り出し、用いられるように備える（聖句暗唱は有効）

(5)語るよりも沈黙がはるかに雄弁であることもある

語るべきか、黙すべきか、聖霊の指導・差配に従おう